



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

◆◆◆ 夏休みは自主的に学習に取り組むことが大切です！ ◆◆◆ ～ 夏休みの始めと終わりの時期に「六中応援塾」を開室します～

六中では、学力・学習意欲の向上や学習習慣の定着をねらいとして放課後に「六中応援塾」を開室していますが、夏休み期間中も次の要領で実施します。特に今年度は、夏休みの後半にも開室します。数学講師の岡田先生や学習ボランティアの方が親身にかつ丁寧に教えてくれますので、宿題等の対応も含めてぜひご利用ください。



◇日 程	7月22日(月)～26日(金) 8月26日(月)～28日(水)	【具体的な内容】
◇開設時間	午前8時30分～午後1時30分 ※ 途中での入室・退室も可能です。	1 数学の応援塾 ・ 指導者 岡田先生 ・ 場 所 3階学習活動室 ・ 持ち物 数学の夏休みの宿題、各自の自習課題
◇その他	・ 事前申し込みは、不要です。 ・ 標準服で参加してください(応援塾の前後に部活動に参加する場合は、活動着でも可)。	2 通常(国・社・数・理・英)の応援塾 ・ 指導者 学習支援ボランティアの方 ・ 場 所 3階少人数学習室 ・ 持ち物 夏休みの宿題、各自の自習課題
◇こんなときにぜひご利用ください!	・ 夏休みの宿題を終わらせたい。 ・ 学習習慣を身に付けたい。 ・ 分からなかったところを質問したい。 など	

◆◆◆ 進路選択に向けて ◆◆◆

～ 本校の上級学校等への推薦方針をお知らせします～

3年生の生徒の皆さん、保護者の皆様には、進路説明会の機会に周知したところですが、本校の上級学校等に進学する際の推薦方針は、次のとおりとなっていますので、ここに改めてお知らせします。具体的には、それぞれの希望を受け止めながら学校体制で進めています。1・2年生の生徒の皆さん、保護者の皆様もぜひこの内容をご承知おきください。特に、私立高等学校の推薦制度の活用は、一個人にとどまらず学校として次年度以降の推薦にも密接な関連がありますので、この趣旨をご理解いただけますようお願い申し上げます。

- ① 本校における3年間の学校生活を通じて意欲的に学習や教育活動に取り組み、義務教育修了時の成長が実感できることに加え、志望校においても3年間しっかりと学校生活を送ることが期待できること
 - ② 志望している学校が第一希望で、合格したら必ずその学校に入学すること
 - ③ 志望校が求める生徒像や推薦基準に合致していること
- ア 基本的生活習慣の定着に加え、具体的に出席状況の基準を示している学校もあります。
- イ 学習面での基準は、評定の3科・5科・9科合計の数値で示されていることが多いです。
- ウ 特別活動や部活動、各種検定等の実績を考慮する学校もあります。

◆◆◆ 平成31・令和元年度「部活動の方針」について ◆◆◆

5月に実施した部活動保護者会でご説明申し上げましたとおり、平成31年3月に策定された「文京区部活動ガイドライン」に基づき、本校の「部活動の方針」を次のように制定しました。特に、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、休養日及び活動時間についても方針を打ち出しています。ご家庭でも趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

【基本方針】

- (1) 生徒の自主的・自発的な参加によりスポーツや文化等に積極的に親しみ、学習と部活動の両立により充実した学校生活を目指すことを通して、バランスのとれた生活の実現や心身の成長、「生きる力」の育成に資することができるようにする。
- (2) 同じ目的をもった生徒が学年や学級の枠を越えて活動することで、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成等に資することができるようにする。
- (3) 顧問や指導員等の指導の下、安全を確保した状態で合理的でかつ効率的・効果的に取り組むことができるようにする。

【休養日】

- (1) 学期中は、週当たり2日以上休養日を設けるようにする。具体的には、平日は少なくとも1日、週休日は少なくとも1日を休養日とし、休養日が確保できなかった場合は、他の日に振り替えるようにする。
- (2) 長期休業中の休養日の設定についても、前項(1)に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるようにするとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。

【活動時間】

1日の活動時間は、長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日(祝日等を含む)及び長期休業中は3時間程度とし、決められた時間の中で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うようにする。

※ 大会・コンクール前などに特別な練習を行う必要がある場合は、事前に必ず事前に管理職の許可と保護者・生徒の理解を得るようにする。

■ 八ヶ岳林間学校(部活動合宿)について

夏季休業日中の8月2日(金)から5日(月)までの3泊4日の予定で八ヶ岳林間学校(部活動合宿)が予定されています。これまで本校では、全運動部活動が参加して実施してきましたが、今年度は、

- 「文京区部活動ガイドライン」の策定により、顧問や指導員等の指導の下、安全を確保した状態で合理的でかつ効率的・効果的に取り組むことが強調されたこと
- 文京区立八ヶ岳高原学園の屋内体育施設は体育館1か所で、近隣に借用できる施設がなく、体育館で活動する部が重複した場合、グラウンドでの練習を余儀なくされること
- 文京区立八ヶ岳高原学園がある長野県野辺山は、高原の清涼な気候であるとされているが、昨年度の8月上旬には最高気温が30℃を超えた日があり、熱中症対策に十分留意する必要があること

などの状況を踏まえ、参加する部を精選することにし、調整の結果、バスケットボール部、野球部、ソフトテニス部の3部で実施することにしましたので、ご理解、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

なお、5月の部活動保護者会でこの方向性についてお知らせしたところですが、その後の部ごとの参加状況に関する周知に不徹底があったことを深くお詫び申し上げます。

◆◆◆ アドバンスルームをご活用ください ◆◆◆ ～ 個に応じた指導の充実に向けて、個別指導や小集団指導を行います ～

学校では、子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、もてる力を高めるために生活や学習上の困り感を改善又は克服するために適切な指導及び必要な支援を行うことが求められています。

これまで文京区では、茗台中学校に「わかたけ学級」を設置し、週1日の通級による指導を実施し、個に応じた指導・支援の充実を図ってまいりました。今年度、この通級による指導をさらに受けやすくし、個に応じた指導・支援のさらなる充実を図ることをねらいとして、各中学校に「アドバンスルーム」を開設しました。

■ 個に応じたサポート体制の充実と期待される効果

「アドバンスルーム」では、拠点校である茗台中学校から巡回指導教員が各中学校に出向き、在籍学級担任やサポートスタッフとの相談の上、生徒の状態に応じて個別指導または小集団指導を実施します。第六中学校には、毎週月曜日に2名の巡回指導教員が来校しています。巡回指導教員は「アドバンスルーム」で指導するほか、在籍学級での生徒の行動観察や担任への助言も行います。

また、「アドバンスルーム」の運営を円滑に行うため、サポートスタッフとして特別支援教室専門員及び特別支援教育担当指導員（2名）が配置されています。特別支援教室専門員は、巡回指導教員や担任等との連絡調整、生徒の様子の観察や記録、教材作成等を行います。また、特別支援教育担当指導員（2名）と協働し、個に応じた学習支援を行います。

さらに、臨床発達心理士等による巡回相談が定期的に行われ、生徒の特性や状態を観察して把握し、指導上の配慮について教員やサポートスタッフに助言しています。

このように、在籍校の学級担任やサポートスタッフと巡回指導教員、臨床発達心理士等との連携を緊密にとることで指導内容の充実を図り、「アドバンスルーム」における個別指導や小集団指導を通して生徒一人一人に適した方法で自信を付けながら個の力を伸ばすとともに、在籍学級での指導にも生かせるようにします。

■ アドバンスルームでは、次のような生徒の「困り感」を解消・克服するために、個に応じたサポートを重視します。

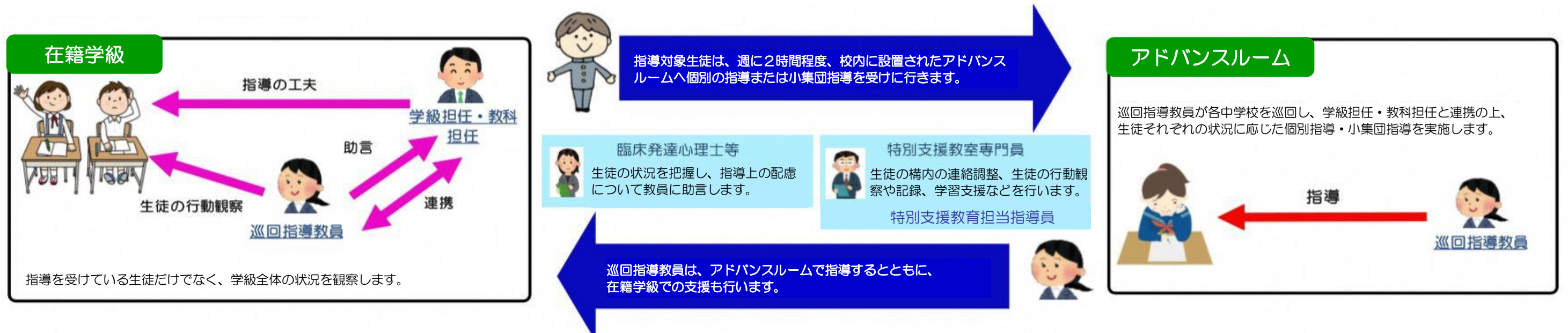
- 気が散りやすい 集中力が続かない 落ち着きがない 忘れっぽい
- 話を聞けない 言葉の指示が伝わりにくい コミュニケーションが苦手
- 「空気」を読んだり、相手の立場で考えたりすることが苦手
- 表現がストレート過ぎる
- じっとしていることが苦手 思いついたらすぐに行動してしまう
- ルールや決まりを守るのが苦手
- こだわりが強い
- パニックを起こしやすい
- 整理整頓が苦手 忘れものやなくしものが多い
- 読み、書き、計算など特定の分野に困難がある コツコツやる勉強が苦手

■ 個に応じた指導の例

- 必要な情報を少なくし、いくつかの情報の中から必要なものに注目できるようにするための指導をします。
- ロールプレイなどを用いて、実際の場面に応じて適切な会話ができるように支援します。
- 物語の登場人物の気持ちを考えるなどして、実際の場面に応じて相手の気持ちを考えることができるように支援します。
- 順番に人の話を聞くなど、ルールにしたがって行動できるようにするための指導をします。
- 自分の特性に応じたクールダウンの方法を考え、気持ちの切り替えができるように指導します。
- 自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて、在籍学級での学習を円滑にできるようにするための指導をします。

【中学校における指導・支援体制（例）】

※ 文京区では、区独自に特別支援教育担当指導員を配置し、指導の充実を図っています（本校には2名配置されています）。また、「アドバンスルーム」の指導は、原則として1日2時間程度としています。



※ 「アドバンスルーム」に関するご相談やお問い合わせは、学級担任または養護教諭にお気軽にお申し出ください。

【学校 ☎ 03-3814-6666】